



# 承認図

通話録音装置

VR-700

本仕様はVer.1.0.\*\*に準じています。



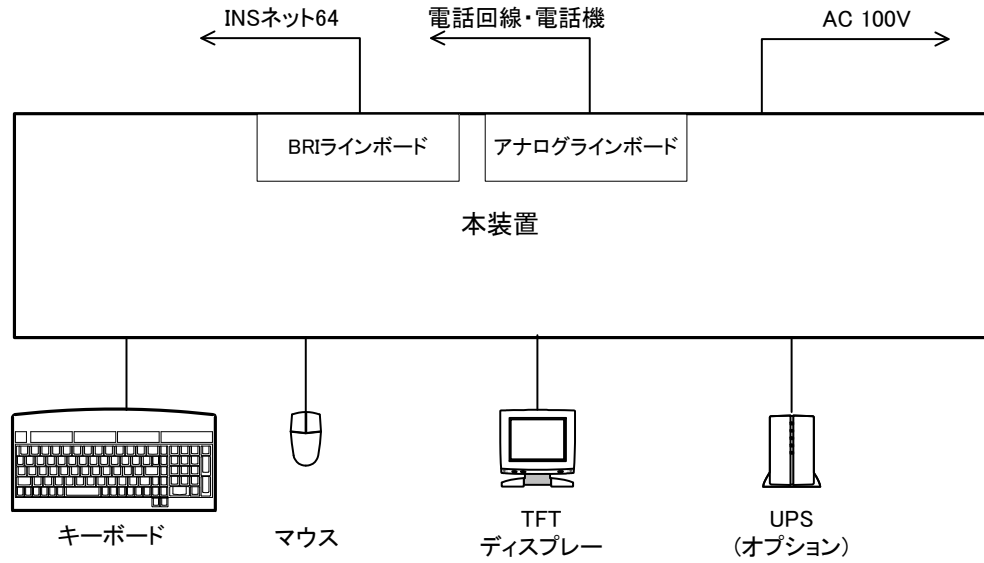
# 仕様書

## 通話録音装置

### VR-700

本仕様はVer.1.0.\*\*に準じています。

## 商品概要



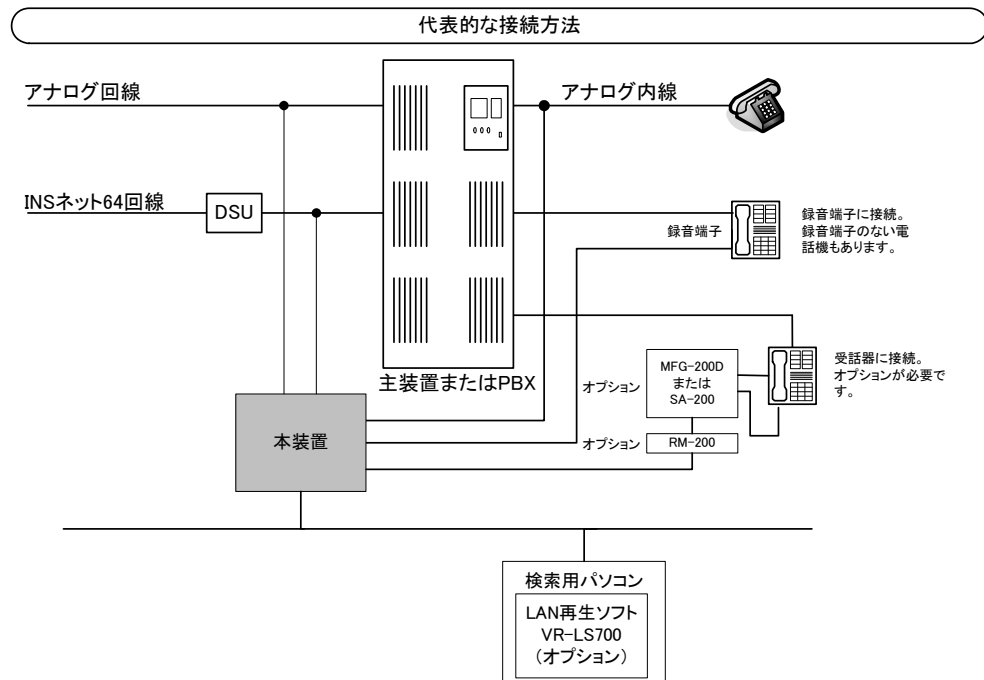
本機は、デジタル録音方式の通話録音装置です。

本製品はハードディスクを録音媒体とし、アナログのアナログラインボード、INS64のBRIラインボードを混在で収容できます。

録音された音声は、ハードディスクに保存され、定期的にブルーレイディスクにバックアップされます。

録音内容を各種の条件で検索して再生することができます。

代表的な接続方法は、下図のとおりです。



## 機能

### 1. 基本機能

本体には増設用の空きスロットが12あります。

オプションの増設用回線ボードは、INS64 用 BRI ラインボード、アナログ用アナログラインボードの2種類混在にて装備することができます。

・各回線ボードのチャンネル数

BRI ラインボード：4 チャンネル

アナログラインボード：8 チャンネル

最大 96 チャンネルの録音管理ができます。

・音声を出力する内蔵スピーカーのほかにイヤホンジャックがあります。

・システム異常が発生したときなど、異常を知らせるアラーム通知機能があります。

・時刻修正機能があります。

・録音媒体としてハードディスクを使用します。

・録音方式は 6 種類とします。

標準(G. 726 8kHz 2bit) :モノラル・ステレオ

高音質(G. 726 8kHz 4bit) :モノラル・ステレオ

最高音質(G. 711  $\mu$ -Law) :モノラル・ステレオ

アナログラインボードではステレオ録音することはできません。

※本製品の仕様は、標準モノラル保存方式のみの仕様となります。

高音質、最高音質、ステレオはご利用できません。

ご利用の際は、後日バージョンアップ対応となります。

また高音質、最高音質保存形式、ステレオ録音では、チャンネル数に制限があります。

詳細は、当社支店・営業所へお問い合わせください。

・録音時間は保存形式により異なります。

標準(G. 726 8kHz 2bit) :モノラル:30000 時間

標準(G. 726 8kHz 2bit) :ステレオ:15000 時間

高音質(G. 726 8kHz 4bit) :モノラル:15000 時間

高音質(G. 726 8kHz 4bit) :ステレオ: 7500 時間

最高音質(G. 711  $\mu$ -Law) :モノラル: 7500 時間

最高音質(G. 711  $\mu$ -Law) :ステレオ: 3750 時間

・バックアップ媒体としてブルーレイ ディスク(BD-RE)を使用します。

BD-RE 25GB ディスク 約 3,000 時間

BD-RE 50GB ディスク 約 6,000 時間

・オプションの専用 UPS を接続することにより、停電時のシステムの保護および復電時に自動的にシステムを再起動することができます。

・LAN 接続により、オプションの LAN 再生ソフト VR-LS700 をインストールした端末から検索・再生・登録等の操作をすることができます。

・LAN 接続により、通話データ(録音開始時間・通話時間時間等)をオプションの LAN 再生ソフト

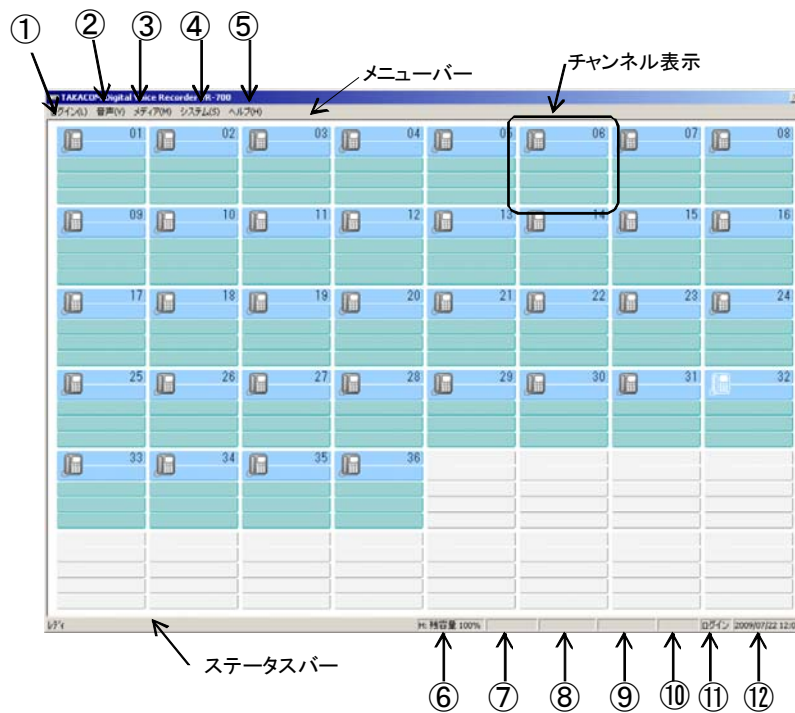
VR-LS700 に添付の LAN データ受信ソフトをインストールした端末に転送することができます。

## 2. 基本画面

本装置が稼働中のディスプレイには基本画面が表示されています。

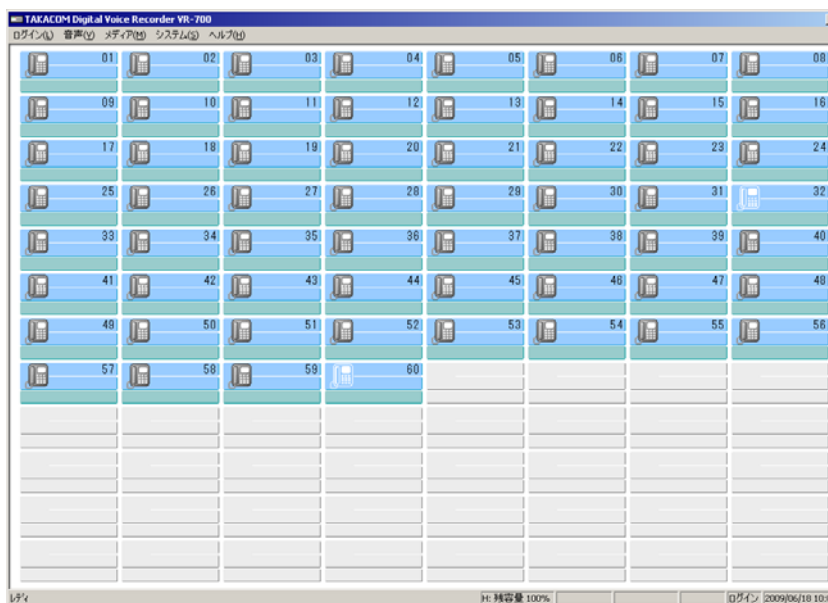
基本画面は収容されている回線のチャンネル数によって次の2画面のどちらかが表示されます。

### 2.1 チャンネル数が48チャンネル以下の基本画面



- ①ログイン :セキュリティの設定で「パスワード認証を使用する」場合に、ログインまたはログアウトするときに操作します。
- ②音声 :録音された音声を検索、再生するときに操作します。
- ③メディア :ドライブ情報の取得やメディアのフォーマット、手動バックアップをするときに操作します。
- ④システム :システムや回線、セキュリティなどの設定をするときに操作します。
- ⑤ヘルプ :ヘルプ(電子ファイルの取扱説明書)の表示やシステムのバージョンを確認するときに操作します。
- ⑥バックアップディスクの空き容量  
:バックアップ用ブルーレイディスクの残容量をパーセント(%)で表示します。
- ⑦バックアップ :音声ファイルをバックアップ中に「バックアップ中」と表示します。
- ⑧ファイル削除 :録音ディスク内の古い録音を削除中に「ファイル削除中」と表示します。
- ⑨タイマー :タイマー録音の設定時間中は「タイマー録音中」と表示し、設定時間外は「タイマー停止中」と表示します。
- ⑩アラーム :システムに異常が発生したときに、「アラーム中」と表示します。
- ⑪ログイン情報:セキュリティの設定で「パスワード認証を使用する」場合に、本装置にログインしているときにログインと表示します。
- ⑫時計 :現在の年月日時分を表示します。

## 2.2 チャンネル数が49チャンネル以上の基本画面

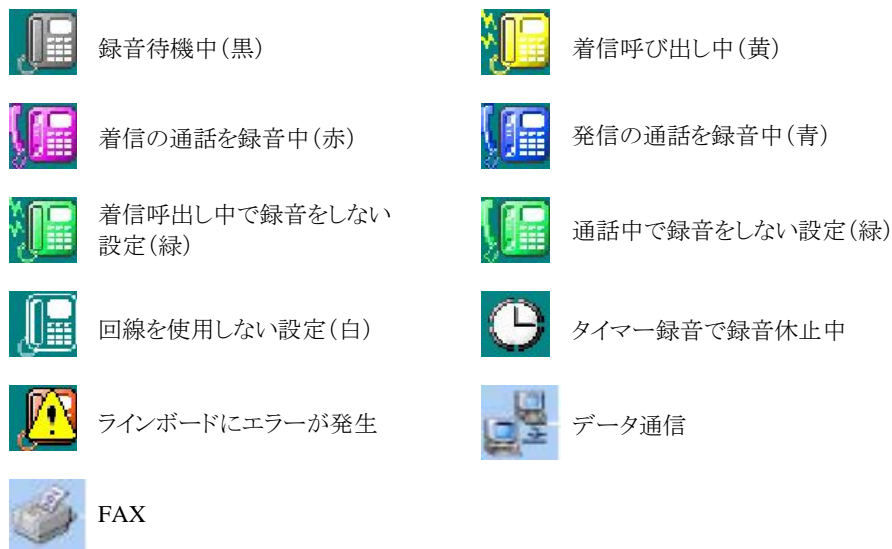
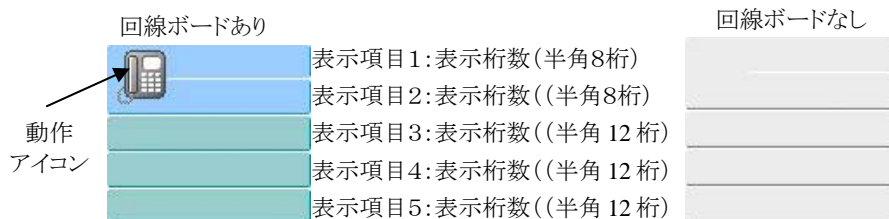


### 2.3 チャンネル表示

表示項目は表示項目1から5まであり、表示項目ごとに表示する内容を選択することができます。

表示内容は「非表示」「チャンネル」「自番号」「自サブアドレス」「表示名」「担当者」「DTMF」「相手番号」「ネームディスプレイ」から選択できます。

チャンネル数が49チャンネル以上のときは表示項目3までになります。



## 3. 回線の接続

### 3.1 ラインボード

- ・回線種別ごとに増設用のラインボードがあります。
- ・回線ボードごとに録音ファイル保存形式を設定できます。

標準(G.726 2bit)モノラル、ステレオ

高音質(G.726 4bit)モノラル、ステレオ

最高音質(G.711 8bit)モノラル、ステレオ

アナログラインボードではステレオを選択することはできません。

モノラル録音のみとなります。

### 3.2 アナログラインボードVR-700-A8

- ・一般アナログ回線、音声を8回線(8チャンネル)接続ができます。
- ・接続端子形状 :クイックコネクタ
- ・回線ごとに下記項目を設定できます。

回線設定	:回線の使用と回線種別を設定します。 「使用しない」「一般」「ナンバーディスプレイ」「ダイヤルイン(PB)」「ダイヤルイン(モデム)」
契約者回線番号	:接続する回線の契約者回線番号を設定します。内線接続する場合は内線番号を登録します。 最大文字数: 16桁
表示名	:基本画面等に表示する名称を登録します。 最大文字数: 20文字 付加機能のダイヤルインで動作した場合はダイヤルインで登録した表示名に置換わり基本画面に表示され、通話ファイルに記録されます。
録音	:接続された回線の録音を「する」「しない」を設定できます。 ダイヤルインを使用した場合は「契約者回線番号」欄で登録した電話番号を対象に録音「する」「しない」を設定できます。
バックアップ	:接続された回線で通話録音した音声ファイルを本体装置のバックアップメディアへバックアップ「する」「しない」を設定できます。 ダイヤルイン回線を使用した場合は「契約者回線番号」欄で登録した電話番号を対象にバックアップ「する」「しない」を設定できます。
起動方式	:録音起動方式を設定します。 接続する回線や、運用方法により「回線電圧」「音声」「外部制御」から選択できます。 外部制御機能を使用するには、「外部制御/保存制御端子」に無電圧接点で入力します。 「ON」になると開始し、「OFF」になると停止します。
保存制御	:保存制御機能を使用する場合に設定します。 使用しない :保存制御を使用しない 保存 :録音動作中に外部接点入力により保存する。 消去 :録音動作中に外部接点により消去する。 LAN :担当者制限機能を使用してLAN再生ソフト VR-LS700の操作により保存、消去できます。
MFG制御	:DTMF信号を記録する設定ができます。使用しない :常にDTMF信号を記録できます。 使用する :DTMF信号を通話録音アダプターMFG-200Dから送出するときのみ記録できます。

タイムシフト	:起動方式が「音声」のとき、録音開始位置からさかのぼって録音する時間を設定できます。 0～9 秒(初期値:0 秒)
テールカット	:起動方式が「音声」のとき、終話検出時間部分の録音を保存するか、カットするかを設定ができます。
遅延録音時間	:起動方式が「回線電圧」で着信時に録音起動信号検出後、設定時間は録音をしない設定ができます。 0～120 秒(初期値:0 秒)
終話検出時間	:起動方式が「音声」のとき、終話を確定する時間を設定します。 1～9 秒(初期値:3 秒)
長時間通話警告	:設定時間を超え、通話が連続した場合、基本画面にアイコンでお知らせ表示できます。 0～99 分(初期値:0 分)
録音継続時間	:設定時間を超え、録音が継続した時にシステム異常として通知できます。 0～999 分(初期値:0 分)
録音停止時間	:設定時間を超え、録音起動しなかった場合にシステム異常として通知できます。 0～999 時間(初期値:0 時間)
アンプゲイン	:録音する音量を「標準」と「高」に設定できます。
録音レベル	:録音方式が「音声」の場合の録音開始・停止の音声レベルを「低」「標準」「高」の3種類で設定します。
回線抜け検出	:起動方式を「回線電圧」に設定した場合、一般アナログ回線の未接続を検出できます。
端末 IP アドレス	:担当者ログイン機能を使用する場合に VR-LS700 をインストールしたクライアント PC の IP アドレスを登録します。
受話器下ろし検出時間※	:起動方式を「回線電圧」に設定した場合の受話器下ろし検出時間を設定できます。 100ms から 2500ms(初期値:2500ms 100ms 単位)
DTMF 間隔時間※	:プッシュ回線を接続し、DTMF 保存方式「相手番号」設定時、PBX 内線等の相手応答リバース信号を検出できない場合に DTMF 信号を判定するまでの時間を設定します。 0 秒～30 秒(初期値:0 秒)
ベル OFF 確定時間※	:着信時、ベル OFF を確定する時間の設定ができます。 1 秒～5 秒(初期値:3 秒)
相手応答までの録音※	:一般アナログ回線を使用しての発信時、相手応答まで録音を「する」「しない」を設定できます。

フリーダイヤルなど、相手応答時極性反転がない場合は録音できません。

**DTMF 保存方式※** : プッシュ回線を接続し、発信時の DTMF 信号、記録項目を「相手番号」か「DTMF 信号」かを選択できます。初期値は「相手番号」になっています。  
「相手番号」に設定し発信後、相手応答リバース信号を検出した後は「DTMF 信号」に記録されます。

**ダイヤルパルス検出※**: 発信時のダイヤルパルスの検出を「する」「しない」を設定できます。検出「する」に設定しても正確に検出できないケースもあります。初期値は「しない」になっています。

**ループ検出※** : 受話器上げを回線ループの条件で検出できない場合に「ループ検出しない」に設定します。  
「検出しない」に設定した場合下記の注意点があります。  
①回線未接続の状態録音を開始されます。接続しない回線は回線使用設定「使用しない」に設定します。  
②回線抜け検出機能は使用できません。  
③発信時の相手応答リバース信号は検出できません。  
④DP 回線で発信通話は、正常に動作できません。  
⑤ナンバーディスプレイ回線、ダイヤルイン回線で使用した場合正常時動作しない場合があります。

**ベル波形確定回数※**: 着信時、ベル信号をベルと確定するためのベル波の数を設定します。

※の付いた項目はパスワード認証をしないと、およびユーザー名「管理者」でログイン時のみ設定ができます。

### 3.3 BRIラインボードVR-700-D4

- BRI回線を2回線（4チャンネル）接続ができます。
- 接続端子形状 : モジュラージャック（RJ-45）
- 回線ごとに下記項目を設定できます。

**回線設定** : 回線を使用するか使用しないかを設定します。

**契約者回線番号** : 接続する回線の契約者回線番号を設定します。

最大文字数: 16 桁

**表示名** : 基本画面等に表示する名称を登録します。

最大文字数: 20 文字

付加機能のダイヤルイン、サブアドレスで動作した場合はそれぞれで登録した表示名に置換わり基本画面に表示され、通話ファイルに

- 記録されます。
- 録音** : 接続された回線の録音を「する」「しない」を設定できます。  
ダイヤルインを使用した場合は「契約者回線番号」欄で登録した電話番号を対象に録音「する」「しない」を設定できます。
- バックアップ** : 接続された回線で通話録音した音声ファイルを本体装置のバックアップメディアへバックアップ「する」「しない」を設定できます。  
ダイヤルイン回線を使用した場合は「契約者回線番号」欄で登録した電話番号を対象にバックアップ「する」「しない」を設定できます。
- 遅延録音時間** : 着信時に録音起動信号検出後、設定時間分は録音をしない設定ができます。  
0～120 秒(初期値:0 秒)
- 長時間通話警告** : 設定時間を超え、通話が連続した場合、基本画面にアイコンでお知らせ表示ができます。  
0 分～99(初期値:0 分)
- 録音継続時間** : 設定時間を超え、通話状態が継続された場合にシステム異常として通知ができます。  
0 分～999 分(初期値:0 分)
- 録音停止時間** : 設定時間を超え、録音起動がされない場合にシステム異常として通知ができます。  
0 時間～999 時間(初期値:0 時間)
- アンプゲイン** : 送話、受話それぞれ録音する音量を「標準」と「高」に設定できます。
- 回線抜け検出** : 回線の未接続を検出できます。
- 相手応答までの録音※**  
: 相手応答まで録音を「する」「しない」を設定できます。
- ※の付いた項目はパスワード認証をしないと、およびユーザー名「管理者」でログイン時のみ設定ができます。

### 3.5 ラインボードの増設

本装置には96チャンネルを超えない範囲で最大12枚のラインボードを増設できます。  
アナログ、BRIのラインボードを混在で収容できます。

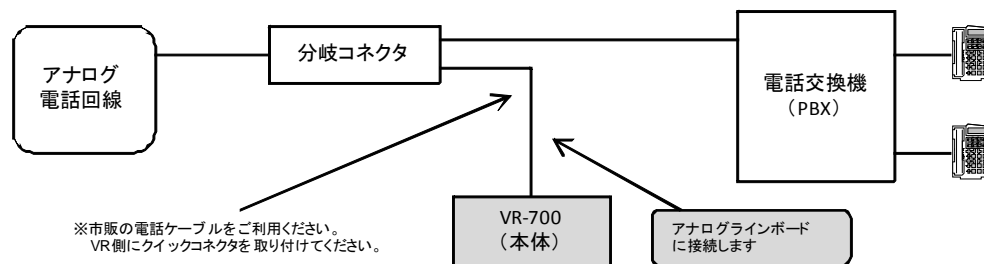
### 3.6 接続形態

電話回線に接続する方法と音声出力に接続する方法があります。

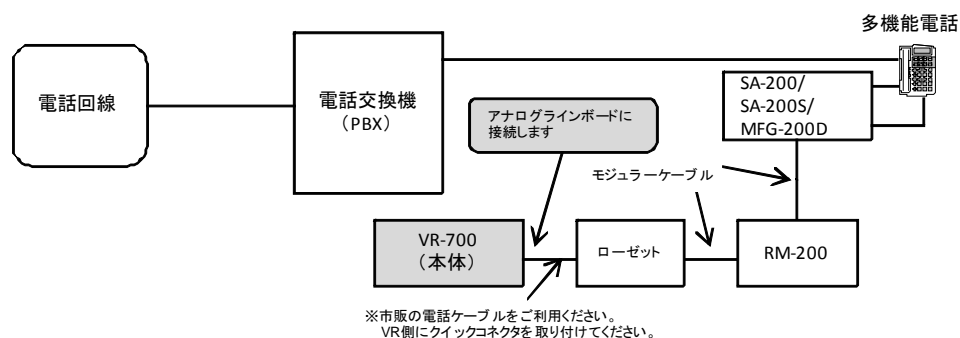
電話回線に接続した場合、発着信情報として「発信」「着信」「ネームディスプレイ」「自番号」「自サブアドレス」「相手番号」を付加することが条件により可能です。

### 3.7 アナログラインボード

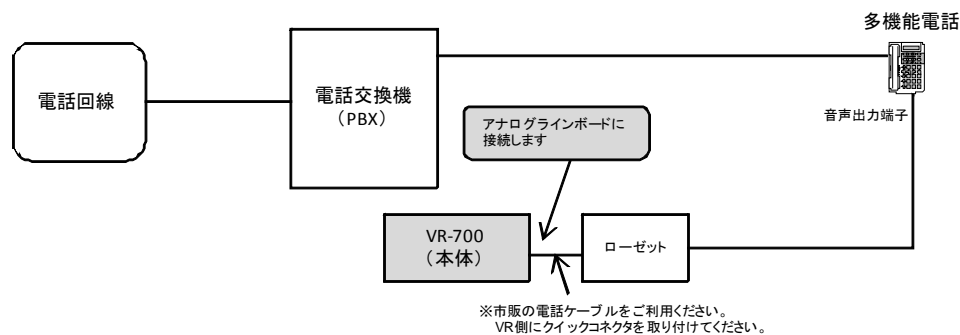
- ・電話回線（一般アナログ回線）の接続例



- ・音声出力（多機能電話機、通話録音アダプタ利用）の接続例

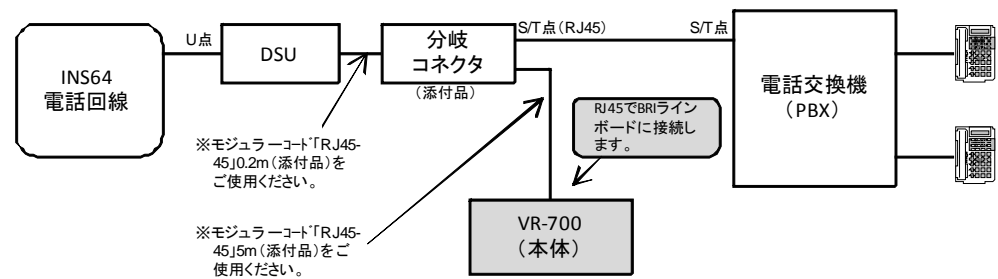


- ・音声出力（多機能電話機、音声出力）の接続例

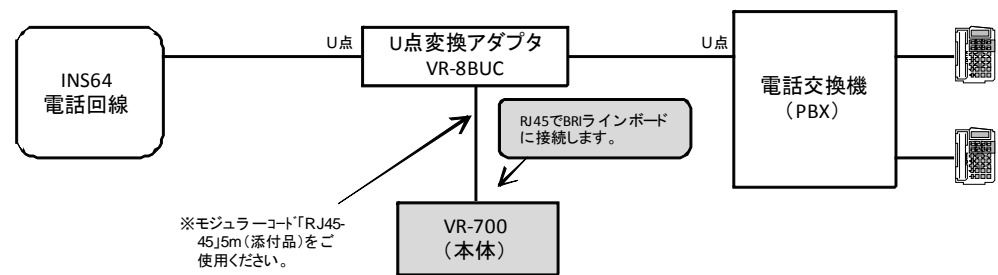


### 3. 8 BRIラインボード

- ・電話回線 (INS64 (ST点接続) ) の接続例



- ・電話回線 (INS64 (U点接続) ) の接続例



### 3.9 付加機能登録

- ・代表番号サービス・ダイヤルインサービス・サブアドレスを使用する場合に設定します。

### 3.10 代表

- ・登録した契約者回線番号リストから代表親番号および子番号を選択し登録します。

### 3.11 ダイヤルイン

- ・契約者回線番号ごとにダイヤルイン番号を登録します。
- ・ダイヤルイン番号は最大 2000 件まで登録できます。

表示名 : 基本画面等に表示する名称を登録します。

最大文字数: 20 文字

録音 : このダイヤルイン番号での通話の録音「する」「しない」を設定できます。

バックアップ : このダイヤルイン番号で通話録音した音声ファイルを本体装置のバックアップメディアへバックアップ「する」「しない」を設定できます。

### 3.12 サブアドレス

- ・契約者回線番号ごとにサブアドレス番号を登録します。
- ・サブアドレス番号は最大 2000 件まで登録できます。

表示名 : 基本画面等に表示する名称を登録します。

最大文字数: 20 文字

録音 : このサブアドレス番号での通話の録音「する」「しない」を設定できます。

バックアップ : このサブアドレス番号で通話録音した音声ファイルを本体装置のバックアップメディアへバックアップ「する」「しない」を設定できます。

アナログ回線では使用できません。

## 4. 通話の録音

- ・接続された回線の音声を録音します。録音した内容は、内蔵のハードディスクに保存されます。
- ・保存できる時間を超えると自動で古い音声ファイルから削除を行います。
- ・録音できる件数は200万件となります。保存できる件数を超えると自動で古い音声ファイルから削除を行います。

### 4.1 一通話あたりの録音時間

- ・一通話あたりの録音時間を設定できます。

最小 : 1～ 99 秒(初期値:3 秒)

登録秒数以下の録音は自動消去します。

最大 :60～7200 秒(初期値:7200 秒)

登録秒数以上の録音はファイルを分割して保存します。

#### 4.2 タイマー

- ・録音動作させる時刻を登録することができます。
- ・登録値は、最大 5 ステップとなります。

開始時刻 :録音開始時刻を設定する。(初期値:00 時 00 分)

終了時刻 :録音終了時刻を設定する。(初期値:00 時 00 分)

開始時刻にすでに通話中の場合は、開始時刻からの通話を録音します。

終了時刻に録音中の通話は、通話が終了するまで録音します。

#### 4.3 音声ファイル保存期間の設定

- ・音声ファイルの保存期間を設定することができます。
- ・保存期間内にハードディスク、バックアップメディアの保存できる時間を超えた場合は設定した保存期間に内であっても音声ファイルは自動削除されます。

自動削除 :保存期間を経過したファイルを自動削除「する」「しない」を選択できます。  
(初期:しない)

保存期間 :ファイルの保存期間を設定できます。

設定値:1～999 日

対象メディア :自動削除を行うメディアをはハードディスクのみとなります。

自動削除の動作時刻は 00 時 00 分となります。

自動バックアップ時刻と重複した場合は、自動削除が継続され、自動バックアップは次回タイミングとなります。

#### 5. 検索

- ・録音した検索項目欄で検索条件を設定することにより抽出する音声ファイルを絞り込むことができます。
- ・抽出する音声ファイルは最大2000件までとなり、2000件を超える場合は検索条件項目で絞り込むことが必要となります。

## 5. 1 検索画面

The screenshot shows a search window with the following sections:

- メディア情報 (Media Information):**
  - ドライブ: ローカル ディスク (G:)
  - 更新: [更新]
  - 項目 | 情報
 

使用開始日時	2009/08/07 15:19:13
保存期間	2009/08/07 15:19:13 ~ 2009/08/07 16:02:53
再利用回数	0
- 検索項目 (Search Criteria):**
  - 日時
    - 電話開始:  通話開始  通話中
    - 検索範囲: 本日分
    - 開始: 2009年08月07日 00時00分00秒
    - 終了: 2009年08月07日 23時59分59秒
  - 通話時間
    - 最小: 1秒 最大: 7200秒
  - 再生フラグ
    - 未再生  再生済み
- 発着信情報 (Call Information):**
  - 発信  着信  未検出
  - 表示名
  - 担当者
  - ネームディスプレイ
  - 自番号
  - 自サブアドレス
  - 相手番号
  - DTMF信号
- メモ (Memo):**
  - あり  なし
  - すべてを含む  いずれかを含む
- 分類 (Classification):**
  - A 分類 A  B 分類 B
  - C 分類 C  D 分類 D
  - E 分類 E
- 電話番号 (Phone Numbers):**

	契約者回線番号	ダイヤルイン	表示名
▶ 1	<input checked="" type="checkbox"/>	0311112000	相談センター-1
2	<input checked="" type="checkbox"/>	0311112001	相談センター-2
3	<input checked="" type="checkbox"/>	0311112002	相談センター-3
4	<input checked="" type="checkbox"/>	0311113000	緊急直通
5	<input checked="" type="checkbox"/>	1111	営業内線1
- 検索条件クリア [検索]

## 5. 2 メディア情報

- ・選択されたドライブの各種情報を表示します。  
使用開始日時、保存期間、再利用回数

## 5. 3 電話番号

- ・通話のあった回線がすべて表示されます。
- ・チェックボックスで選択することにより検索の対象を選択することができます。
- ・マウスの操作で「すべて選択」「すべて解除」操作もおこなえます。
- ・タイトル行をクリックすることで並び替え(ソート)することができます。
- ・タイトル行の列幅はマウスで変更することができます。

## 5. 4 検索項目

- ・各検索項目のチェック欄にチェックを付けることによって検索条件を入力できます。
- ・複数の検索項目選択時は全ての条件を含む音声ファイルを抽出します。

## 5. 5 日時

- ・通話の日時やその範囲を指定して検索できます。
  - 録音開始 : 設定時間に録音が始まった音声ファイルを検索します。(初期値)
  - 録音中 : 設定時間に録音中の音声ファイルを検索します。
  - 検索範囲 : 検索範囲を指定します。  
本日分、過去 3 日分、過去 1 週間分、過去 1 ヶ月分、範囲指定(初期値: 本日)

開始・終了 : 検索範囲欄で範囲指定を選択した場合に使用します。

範囲指定検索の開始日時、終了日時を指定します。

年月日はキーボードからの入力のほか、マウス操作でカレンダーを表示させ入力することができます。

## 5.6 通話時間

・通話時間の範囲を指定して検索できます。

最小 : 設定時間以上の録音を検索対象とする。(初期値:1 秒)

最大 : 設定時間以下の録音を検索対象とする。(初期値:7200 秒)

## 5.7 再生フラグ

・音声ファイルに付けられた、再生フラグを検索条件にできます。

未再生 : 未再生の音声ファイルを検索対象とします。

再生済み : 再生済みの音声ファイルを検索対象とします。

## 5.8 発着信情報

・通話したときの、回線からの情報や本装置の登録による情報などを検索条件にできます。

・発信・着信・未検出 : 通話が発信であったか、着信であったかを検索条件にします。

・アナログ回線での通話は回線登録で、起動方式を「ライン電圧」に指定した回線での通話に付加されます

表示名 : 契約者回線番号、ダイヤルイン番号、サブアドレスを登録するときに指定した「表示名」を検索の条件にします。

入力した文字列を含む音声ファイルを検索できます。

20文字まで入力できます。

担当者 : 担当者制限機能を使用した場合の「担当者名」を検索の条件とします。

入力した文字列が一致した音声ファイルを検索できます。

20文字まで入力できます。

ネームディスプレイ : ネームディスプレイ情報を検索の条件にします。

このサービスを受けている回線に設置してある時に利用できます。

入力した文字列を含む音声ファイルを検索できます。

自番号 : 発着信時の自らの電話番号やダイヤルイン番号を検索条件にします。

入力した数字を含む音声ファイルを検索できます。

30桁まで入力できます。

自サブアドレス : 発着信時のサブアドレスを検索条件にします。

デジタル回線での通話録音が対象になります。

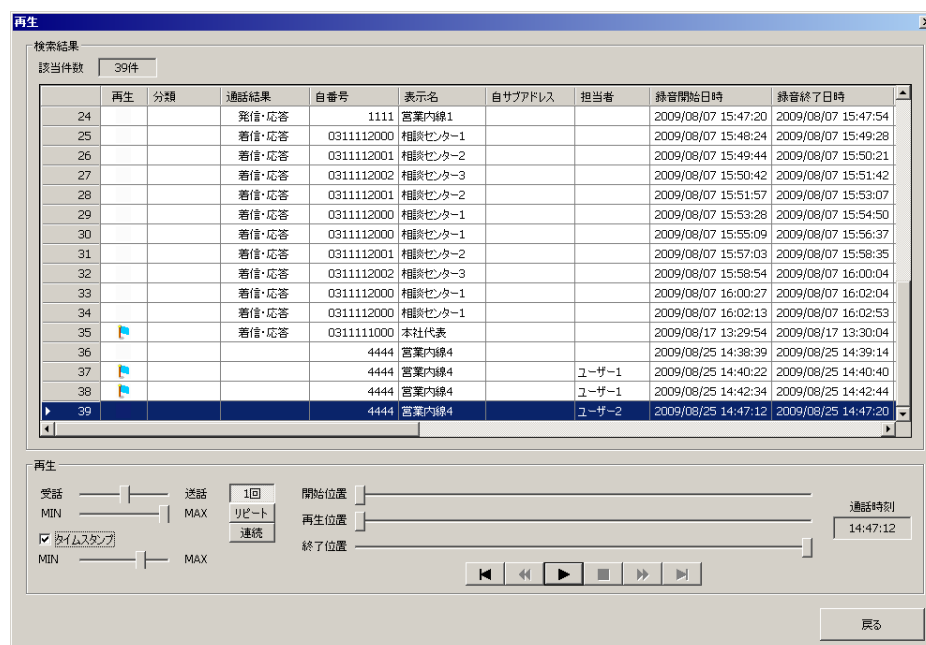
入力した文字、数字を含む音声ファイルを検索できます。

20桁まで入力できます。

- 相手番号** :通話先の電話番号を検索条件にします。  
 入力した数字を含む音声ファイルを検索できます。  
 20桁まで入力できます。  
 「非通知」/「公衆電話」/「表示圏外」の指定もできます。
- DTMF信号** :通話録音中に録音されたDTMF 信号を検索条件にします。  
 入力した数字を含む音声ファイルを検索できます。  
 30桁まで入力できます。
- メモ** :音声ファイルに付加されたメモの有無およびメモに含まれた文字列を検索条件にします。  
 メモは録音を再生するときに付加することができます。  
 検索する文字列は3種類まで設定でき「全て含む」「いずれかを含む」を選択することができます。
- 分類** :音声ファイルに付加された分類(分類AからEの5種類)を検索条件にします。  
 分類AからEはその内容を任意に10文字まで登録することができます。  
 分類は録音を再生するときに付加することができます。  
 分類は複数選択して検索することができます。

## 6. 再生

検索画面より再生画面を表示することができます。



### 6.1 検索結果該当件数の表示

- 抽出された音声ファイルの件数を表示します。

- ・音声ファイルは録音開始年月日の古い順に最大2000件まで抽出されます。
- ・2000件を超える音声ファイルがある場合は、「最大検索件数を超えました」のメッセージが表示します。検索条件を絞り込んで、再度検索を行ってください。

## 6.2 表示項目

- ・表示項目は次の通りです。

「再生フラグ」「分類」「通話結果」(発信、着信、応答等)「自番号」「自サブアドレス」「表示名」「担当者」「録音開始日時」「録音終了日時」「通話時間」「DTMF」「呼出時間」「相手番号」「ネームディスプレイ」「メモ」「装置名」「回線種別」「録音ファイル保存形式」

- ・表示項目欄では、次のような操作ができます。

音声ファイルのソート : 音声ファイル表示欄のタイトル部分をクリックすると、その項目を基準に音声ファイルを並べ替えることができます。

クリックするごとに昇順、降順に切り替わります。

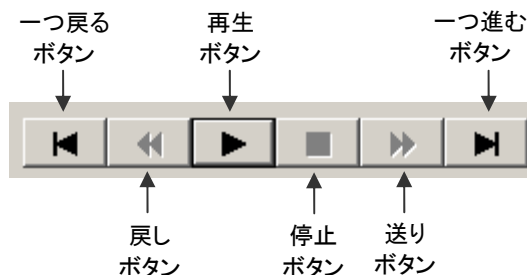
表示項目の設定 : 表示項目を選択して表示する、しないを選択することができます。

表示項目の順番を変更することができます。

表示項目の列幅を任意に変更することができます。

## 6.3 再生操作

- ・検索結果ボックスで再生したい音声ファイルを選択し、再生操作ボックスで再生条件を指定して再生します。
- ・音声ファイルを再生すると再生フラグが自動で付加されます。



送受話バランス : デジタル回線で録音ファイル保存形式をステレオとした場合、受話と送話の音量をバランスボリュームで調節することができます。

音量の調節 : スピーカーおよびヘッドホンジャックの音量を調節することができます。

タイムスタンプ : 再生の前に通話月日時分を音声で聞くことができます。タイムスタンプの音量を独自に調節することができます。

再生方式 : 再生方式のボタンを選択して次の3種類から指定できます。

「1回」 選択したファイルを1回再生して終了します。

「リピート」 選択した音声ファイルを繰り返し再生します。

停止ボタンをクリックすると停止します。

再生範囲の指定と併用すると、指定した範囲の内容を繰り返し再生することができます。

「連続」 表示欄の選択した音声ファイルを順に再生します。停止ボタンをクリックするか、リストの最後まで再生すると停止します。

再生範囲の指定 :1つの音声ファイルの中で開始位置と終了位置を指定してその部分のみを再生できます。

通話時刻の表示 :通話時刻表示欄に再生中の音声ファイルの通話時刻が表示されます。再生時は再生経過に従ってその通話時刻を表示します。

## 6.4 音声ファイルのオプション操作

### 再生フラグの操作

通常「再生フラグ」は音声ファイルを再生したときに付加されますが、選択した音声ファイルを再生せずに、再生済み扱いにすることができます。また、再生済み音声ファイルを未再生の扱いに変更することができます。

分類 :音声ファイルの録音内容にしたがって(分類 A から E)のいずれかに分類することができます。

メモを付ける :選択した音声ファイルにメモを付けることができます。最大 128 文字まで

削除 :選択した音声ファイルを削除することができます。

複数の音声ファイルを選択し削除することもできます。

コピー :選択した音声ファイルを他のメディアにコピーすることができます。

複数の音声ファイルを選択しコピーすることもできます。

コピーした音声ファイルは本装置、または LAN 再生ソフト VR-LS700 を使用して再生することができます。

WAV コピー :選択した音声ファイルを WAV 形式に変換して、他のメディアにコピーすることができます。

複数の音声ファイルを選択し WAV 形式に変換してコピーすることもできます。

コピーした音声ファイルは Windows パソコンであれば特別なソフトなしで再生ができます。

## 7. 音声のバックアップ

通話録音した音声を内蔵のブルーレイにバックアップ(コピー)することができます。

バックアップは「定時」または「間隔」の自動的バックアップと「手動」バックアップができます。

## 7.1 バックアップ方法

・バックアップメディア :ブルーレイディスク BD-RE(Blu-ray Disk Rewritable)容量 25GB(1層)または、容量 50GB(2層)のカートリッジなしタイプ

定時 :一日に一回、時間を指定してバックアップします。

間隔 :間隔(1から23時間)を指定してバックアップします。

手動 :抽出する条件を指定してバックアップします。抽出する検索項目は音声ファイルの検索と同じとなります。

手動でバックアップするときには、手動バックアップに使用するブルーレイディスクを作成して使用します。

・使用メディア制限:本装置でフォーマットしたバックアップメディア以外のメディアを使用できないよう制限することができます。

・メディア保存期間:一定期間、バックアップメディアを保存する場合、登録した期間以内のときは、VR-700 で再利用を制限するメッセージを表示させることができます。

メディア定期交換 :バックアップメディアの交換をお知らせするメッセージを定期的(週単位、月単位)に画面に表示することができます。

週単位 :毎週・登録曜日・登録時にメッセージを表示する。

月曜日～日曜日(初期値:月曜日)

0時～23時(初期値:0時)

月単位 :毎月・登録日・登録時にメッセージを表示する。

1日～31日(初期値:1日)

0時～23時(初期値:0時)

自動バックアップ中は、お知らせメッセージが表示されてもバックアップメディアを交換しなければ、バックアップ時間になると新しく録音された音声ファイルは同じバックアップメディアに保存されます。

## 7.2 ディスクの交換

・バックアップメディア満杯になると、案内の画面が表示されます。案内画面にしたがって操作することでディスクの交換ができます。

・バックアップメディア交換の案内が表示されていなくても交換することが出来ます。

## 8. セキュリティ

本装置で再生や登録などの操作をするときに、ユーザー名とパスワードを入力しないと操作できないように制限をかけることができます。

## 8.1 共通項目担当者制限機能

オプションの LAN 再生ソフト VR-LS700 からログインして「担当者制限機能を使用する」場合に、設定します。

- ・担当者制限機能を使用するとアナログラインボードのチャンネルに設定した IP アドレスのクライアント PC からログインすると担当者名にログインユーザー名を表示することができます。
- ・通話録音すると音声ファイルには表示した担当者名を付加して記録します。
- ・VR-LS700 から検索・再生すると、ログインしたログイン名の通話のみ再生することができます。
- ・VR-LS700 から通話の録音、保存、消去などの操作をすることができます。

選択機能	機能内容
通話を保存しない。	この担当者の通話は全て保存しません。
通話を保存しない。 ただし保存制御により保存が可能。	この担当者の任意の通話を、保存制御機能で録音保存できます。
通話を保存する。	この担当者の通話をすべて録音保存します。
通話を保存する。 ただし保存制御により消去が可能	この担当者の任意の通話を、保存制御機能で消去できます。

## 8.2 重複ログインの許可

- ・管理者以外の一般ユーザーでログインするとき、複数のクライアント PC から同じユーザー名でログインできます。
- ・担当者制限機能と重複して使用できません。

## 8.3 自動ログアウト

- ・本装置にログインしたあと、何も操作しない状態が継続したときに、自動でログアウトします。
- 登録範囲 : 0分(無制限)～99分

## 8.4 セキュリティーユーザーの登録

- ・セキュリティーユーザーは「管理者」1名と「一般ユーザー」299名が登録できます。
  - ・ユーザー名は20文字まで、パスワードは半角で20文字まで入力できます。
  - ・有効期限を設定できます。
- 「一般ユーザー」は有効期限を設定できます。
- 登録範囲 : 0日(無制限)から999日
- ・設定許可項目
- セキュリティーユーザーおよびユーザーごとに操作を許可する項目を登録します。
- 「管理者」は全ての操作が許可されています。変更はできません。

項目	内容	
操作関連	システム登録	システムに関する登録および登録値の操作、「基本画面」の表示に関する登録ができます。
	回線登録	回線に関する登録および登録値の操作ができます。
	付加機能登録	代表、ダイヤルイン、サブアドレスに関する登録ができます。
	セキュリティユーザー	セキュリティユーザーに関する登録ができます。
	電話番号グループ	電話番号のグループ分けに関する登録ができます。
	登録値	登録されたデータの入出力に関する操作ができます。
	通話データの保存	通話データの保存に関する操作ができます。
	分類名設定	音声ファイルを分類するときの分類名が設定できます。
	ログビューア	操作ログが確認できます。
	シャットダウン	本装置を終了させることができます。
バックアップ・アラーム関連	ヘルプの表示	ヘルプ(電子ファイル:PDF)画面の表示/非表示を設定します。
	手動バックアップ	手動で音声ファイルのバックアップができます。
	バックアップ中断	バックアップを途中で中止することができます。
	メディア交換	バックアップメディアを交換することができます。
	メディアフォーマット	バックアップメディアのフォーマットができます。
録音・再生関連	アラーム出力停止	アラーム出力を停止できます。
	検索・再生	音声ファイルの検索・再生に関する操作ができます。
	通話モニター	録音中の音をモニターすることができます。
	再生フラグ	音声ファイルの再生済みフラグに関する操作ができます。
	メモ	音声ファイルにメモを付けるなどの操作ができます。
	分類	音声ファイルの分類に関する操作ができます。
	コピー	音声ファイルのコピーに関する操作ができます。
	WAVコピー	音声ファイルのWAV形式でのコピーに関する操作ができます。
	ファイル削除	録音された音声ファイルを削除できます。

## 8.5 電話番号グループ

収容されている電話番号(回線)をグループに分けセキュリティユーザーに登録することができます。

- グループ数 :最大100グループ
- グループ名 :20文字
- コメント :128文字

## 9. アラーム機能

アラーム状態になったときの、アラーム情報を出力条件に従い通知することができます。

### 9.1 アラーム出力

アラームが発生した場合、出力設定に従い警告を通知することができます。

#### ・アラームの種類

- システム異常 :システムに異常が発生したとき。
- 録音監視 :設定時間録音が継続または録音がされなかったとき。
- バックアップアラーム :バックアップ動作に異常が発生したとき。

#### ・アラーム出力

- アラーム音 :内蔵スピーカーからアラーム音を送出する。
- 外部端子 :アラーム出力接点をメークする。
- メール通報 :登録されたメールアドレスにアラーム内容を送信する。

### 9.2 メール通報

- ・アラーム発生時に e-mail で通報することができます。
- ・メール通報を行うためには本装置をネットワークへの接続が必要となります。

- ・通報できる e-mail アドレスは15まで登録し通知設定することができます。

- ・通報する時間を設定することができます。

対応プロトコル: POP3、SMTP

対応認証 :POP before SMTP

### 9.3 アラーム音量

アラーム出力時、本体からの音量を設定することができます。

### 9.4 システム監視

- ・本装置の動作状態を監視して、以上があるとアラーム情報としてシステム監視画面を表示します。

- ・システム監視画面は、通常自動的に表示されますが、手動で任意にシステムの状態を確認することもできます。

### 9.5 アラーム出力の解除

- ・アラームの出力は、本装置前面の、アラーム解除ボタンまたはシステム監視画面の「アラーム出力解除」ボタンをクリックすることで解除します。

- ・アラーム出力を解除してもアラームの解決にはなりません。原因を確認して対処することが必要となります。

## 10. 通話モニター

- ・通話中の音声をモニターすることができます。

- ・通話モニターは「通話モニター」画面を表示させて、モニターしたいチャンネルと選択する方法と、基本画面でモニターしたいチャンネルにマウスのポインタを移動して操作する方法があります。

- ・次のような場合には通話モニターができません。

該当チャンネルが通話中でない場合

通話中であっても、その回線が「回線登録」で録音対象になっていない場合。

通話中であっても、ログインしているユーザーに、許可されていない「電話番号グループ」の場合

## 11. 通話データの保存

- ・検索した音声ファイルの通話データ(通話開始日時、自番号、相手番号等の音声以外のデータ)を、抽出する条件を指定してCSV形式で他のメディアに保存することができます。

- ・抽出する検索項目は音声ファイルの検索と同じです。

- ・出力される内容は次の項目となります。

ヘッダー :VR700-1 固定)

装置名	: 登録した装置名
表示名	: 回線登録で登録した表示名
契約者回線番号	: 回線登録で登録した電話番号
自番号	: 自分の電話番号、ダイヤルイン番号など
自サブアドレス	: 自分のサブアドレス
相手番号	: 相手の電話番号
相手サブアドレス	: 相手のサブアドレス
ネームディスプレイ	: ネームディスプレイの情報
DTMF	: DTMF 信号情報
録音開始年月日	: 録音を開始した年月日
録音開始時分秒	: 録音を開始した時分秒
通話時間	: 通話した時間、時分秒
通話結果	: 情報なし、着信応答、着信放棄、着信話中、着信その他、発信応答、 発信放棄、発信話中、発信その他、着信FAX、着信データ通信、 発信FAX、発信データ通信)、
呼出時間	: 発信または着信後、通話に入るまでの時間
担当者	: セキュリティ登録で登録したユーザー名
内線番号	: 使用しません
オペレータID	: 使用しません
オペレータ名	: 使用しません
オペレータグループ	: 使用しません
回線種別	: INS64、アナログ
スロット番号	: ラインボードのスロット番号
ボード番号	: ラインボードの ID 番号
チャンネル番号	: ラインボードごとのチャンネル番号
録音番号	: 通話ごとの通し番号(アナログ回線)
通話番号	: 通話ごとの通し番号(デジタル回線)
録音方式	: 標準モノラル、高音質モノラル、最高音質モノラル、標準ステレオ、高 音質ステレオ、最高音質ステレオ
ファイル分割	: 設定した 1 通話あたりの録音時間を越え録音してファイルの分割あり、 なし
タイマーモード	: タイマーで録音しない時間帯の通話と録音する通話
録音	: 録音された通話とされなかった通話
再生フラグ	: 再生済みファイル
分類	: 分類なし、分類 A から E

## 12. その他の機能

## 12.1 装置名

- ・本装置に装置名を登録できます。
- ・複数の装置を誤使用になる場合、固有の名前を付けて区別することができます。
- ・装置名は32文字まで入力できます。

## 12.2 時刻修正

- ・NTPサーバーによる時刻修正と、接点信号による時刻修正ができます。  
時刻修正端子にメーク接点信号（ワンショット200ms以上）が入力された場合に時刻修正をします。
- ・NTPでの時刻修正  
NTPサーバーのIPアドレスと修正時刻を設定します。  
NTPサーバーの時刻修正を使用するには本装置のネットワーク接続が必要となります。
- ・接点入力  
時刻修正入力端子に信号が入力されたとき、本装置の時刻を修正します。  
修正する範囲は次のとおり設定できます。（初期値：±30 秒）
  - ±10 秒 :本装置の時計が「0～10 秒」の時は0秒に、「50～59 秒」の時は1 分進めて0 秒に修正する。
  - ±30 秒 :本装置の時計が「0～29 秒」の時は0秒に、「30～59 秒」の時は1 分進めて0 秒に修正する。

## 12.3 ログビューア

- ・本装置の動作履歴を確認することができます。
- ・また、ブルーレイディスクに保存することもできます。

## 12.4 ネットワーク

- ・本装置をネットワークに接続してオプションの「LAN再生ソフトVR-LS-700」をインストールしたネットワーク上のクライアントPCからログインして、検索・再生やシステム登録などを行うことができます。
- ・ネットワークへの接続には本装置へのIPアドレスの登録が必要です。
- ・接続方式
  - 通信プロトコル :TCP/IP
  - インターフェイス :100BASE/TX以上

## 12.5 通信ポート

- ・オプションの「LAN再生ソフトVR-LS700」の通信ポートを変更することができます。
- ・変更する場合はクライアントPCにインストールしたVR-LS700の通信ポートと合わせる必要があります。

---

## 主な仕様

---

接続回線	回線種類 .....	アナログ回線、INS64回線
最大ch数 .....		96ch
記憶媒体	録音 .....	ハードディスク(シングル)
	バックアップ .....	ブルーレイ
OS .....		Windows XP Embedded SP3
時計精度 .....		月差30秒(25℃)
表示装置 .....		17インチTFTディスプレイ(別売)
環境条件	動作時 .....	温度条件5～40℃ 湿度条件20～85%
	保管時 .....	温度条件-10～60℃ 湿度条件20～85%
電源 .....		AC100V±10% 50/60Hz±3Hz
消費電力 .....		最大 約200W(本体)
寸法 .....		429(幅) × 500(奥行) × 192(高) mm (突起物含む)
質量 .....		最大18.5kg

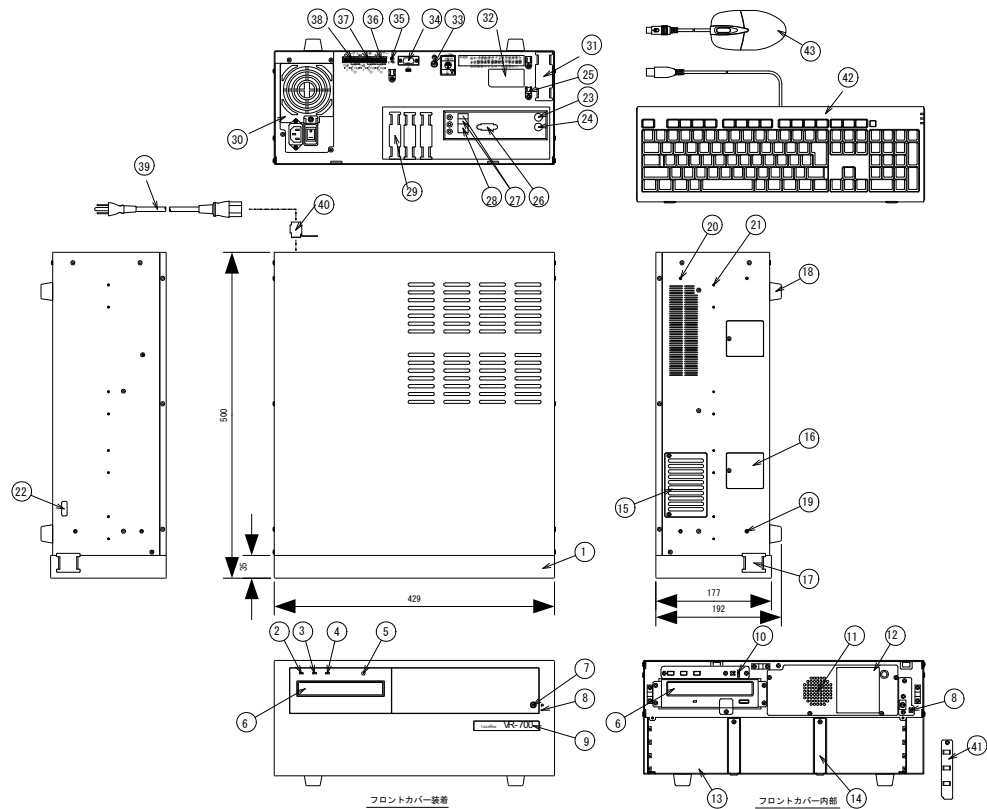
---

## 添付品

---

キーボード .....	1台
マウス .....	1台
電源コード .....	1本
電源コード抜け止め金具 .....	1個
ケーブル固定金具 .....	1個
結束バンド .....	6本
ブルーレイディスク(50GB) .....	1枚
取扱説明書(保証書) .....	1式

## 外觀図



43	マウス
42	キーボード
41	ケーブル固定金具
40	電源コード抜け止め金具
39	電源コード
38	外部コントロール端子
37	時刻修正端子
36	アラーム端子
35	アラームスイッチ
34	USBコネクタ
33	接地端子
32	銘板
31	リヤ部ケーブル出し口カバー
30	電源
29	スロットカバー
28	LANコネクタ
27	USBコネクタカバー
26	モニターコネクタ
25	結束具
24	マウスコネクタ
23	キーボードコネクタ
22	Windows COAラベル
21	スライドレール用ネジ穴
20	ゴム足用ネジ穴 (縦置き時)
19	ラック取付金具用ネジ穴、ゴム足用ネジ穴 (縦置き時)
18	ゴム足
17	フロント部ケーブル出し口カバー
16	ケーブル操作穴カバー
15	吸気ファン
14	基板止め金具
13	ラインボードスロット
12	スロット位置説明ラベル
11	スピーカー
10	HDD状態ランプ
9	商品ネーム
8	強制リセットスイッチ
7	ヘッドホンジャック
6	ブルーレイディスクドライブ
5	アラーム解除ボタン
4	アラームランプ
3	HDDランプ
2	電源ランプ
1	フロントカバー
NO.	名称